

第4学年 国語科学習指導案

児童 男子11名 女子6名 計17名
授業者 田代育子

1 単元名 材料の選び方を考えよう（光村図書4年下「はばたき」p.18～p.28）

2 教材名 「アップとルーズで伝える」（説明文） 中谷 日出
四年三組から発信します
－選んで伝える－

3 単元について

(1) 教材について

第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。また「書くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる。」である。本単元で育てたい主となる能力は、「読むこと」の内容「イ 目的に応じて、中心となる語や文を選んで段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。」「オ 目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要などころは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。」、書くことの内容「イ 書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること。」である。

本単元は、「読むこと」と「書くこと」の学習が連続して設定されている複合単元である。説明文「アップとルーズで伝える」の学習では、写真と文章を対応させて読みながら、対比的な段落構成をつかみ、それを含んだ文章全体の構成をとらえる。その学習を受けて「四年三組から発信します」では、情報の収集から選材、発信までの活動を行う。

第1教材「アップとルーズで伝える」は、テレビや新聞などを通して私たちに届けられている映像や写真が、送り手の目的や意図によって取捨選択されたものであるということ、基本的な映像の技法である「アップ」と「ルーズ」という写真を通して述べられた説明文である。児童がよく目にしているメディアであるテレビの映像技能を中心に述べられており、児童にも身近に感じられる内容であるとともに、実際に確かめることが容易である。また、「アップ」と「ルーズ」について対比的に分かりやすく述べられており、文章構成をとらえる、要約するといった学習に適した教材である。

また、第2教材「四年三組から発信します」では、情報の収集から発信までの活動を行う。知らせたいことを決めて、情報を集めた後、集めた情報を全て発信するのではなく、目的や相手に合わせて知らせることを選び、文章にまとめる活動を行う。何を伝えたいのか、そのためにはどんな順序で伝えたらいいのか、内容を伝えるにはどういう写真が適切なのかという、選ぶ段階で必要な視点をもってまとめさせる。集めた様々な情報の中から、相手や目的に合うものを選ぶ（情報を選択する）ことに焦点を当てた教材である。

(2) 児童について

児童は、3年生の「ありの行列」で段落という概念を学習し、4年生の「『かむ』ことこの力」の学習において、形式段落ごとに要点をまとめ、段落相互の関係を理解する学習を行ってきた。このことを通して、中心語句や中心文、接続語に着目しながら内容を読み取ろうとはするが、自分だけの力で中心文を見つけたり、要約したりすることが難しい児童もおり、十分に力がついていない状況である。また、段落の役割や段落と段落のつながりに気をつけながら構成をとらえることについては、教師や児童と一緒に考えながらできるようになってきている。

「書くこと」については、「新聞記者になろう」の学習において、伝えたい内容を探し、インタビューしたり本で調べたりして材料を集め、割り付けや小見出しを工夫して新聞にまとめる学習を行ってきた。また、自己の経験をもとに日記や行事作文などを意欲的に書く児童が多い。しかし、書きたいことをただ羅列するだけであったり、誤った文章表現をする児童も少なくない。

(3) 指導にあたって

本単元では、段落相互の関係を考えながら内容を読み取ることができるようにするために、次の3点に留意して学習を進めていく。

1点目は、文章構成をとらえさせることである。問いの文、中心語句や中心文、接続語「しかし」「でも」、指示語「このように」などに着目しながら、大まかな文章構成をとらえることができるようにする。

2点目は、写真と文章を関連付けながら内容を読み取らせることである。写真と文章を対応させながら読むことで、内容面の読み取りがより深まると考えられる。

3点目は、対比的表現の仕方に着目させることである。「アップ」と「ルーズ」について、第①段落と第②段落、第④段落と第⑤段落で対比され、それぞれ第③段落と第⑥段落でまとめている。このような段落の役割を考えることにより、段落相互の関係をとらえられると考える。

(4) 本校の研究にかかわって

本校の研究目標は、「確かに読み取る力を育てるために、説明的文章における、意図的な書く活動を位置付けた指導の在り方を実践的に明らかにする。」である。この目標の具現化のために、本単元の学習を通して以下の3点を意識的に行う。

1点目は、1単位時間の中に位置付ける2回の書く活動である。展開の段階でアップとルーズで伝えられることと伝えられないことにサイドラインを引き、表にまとめさせる。アップについての活動は全体で行い、文章表現に着目することで中心文を見つけられることを確認する。その後に位置付けた1回目の書く活動で、ルーズについてまとめる活動を自力で行わせる。2回目の書く活動は、終末の段階でアップとルーズの伝えられることと伝えられないことをまとめさせる活動である。この時、文型を指定し、それに沿って書かせることで、全員が読み取った内容をまとめられるようにしたい。

2点目は、文章構成を意識させる活動である。形式段落①～③の学習では、形式段落①②を形式段落③がまとめていることや形式段落④～⑥の学習では、形式段落④⑤を形式段落⑥がまとめていることをその都度確認することで段落相互の関係の理解が深められると考える。

3点目は、単元の初めにリライト教材を用いた学習を位置付けることである。リライト教材を使って学習することによって基本的な文章構成を確認したり、段落のキーワードをとらえたりする力を付けることができる。そこでつけた力を第1教材「アップとルーズで伝える」の学習に生かせるようにしたい。

4 単元の目標と言語活動

(1) 単元の目標

- 教材文を通して、情報を発信することに興味をもち、進んで取材したり交流したりしようとしている。【関心・意欲・態度】
- 学校や地域にある物について取材し、相手と目的意識に応じて選材して分かりやすく伝えることができる。【話すこと・聞くこと】
- 取材したことを選材し、相手意識をもちながら、分かりやすく割り付けをしたり原稿を作ったりすることができる。【書くこと】
- 対比・まとめなど、段落相互の関係に気を付けることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かすことができる。【読むこと】
- 接続語に着目しながら文章を読み取ったり、聞きやすい音量や速さで発表したりすることができる。【言語事項】

(2) 本単元で行う言語活動

- 詳しく知りたいことや疑問に思うことを調べて、インターネットのホームページの原稿に表すこと。【書くこと】
- 映像の撮影技術について書かれた文章を読んで利用すること。【読むこと】

5 単元の指導計画（全17時間）

次	時	学 習 活 動	関心 意欲 態度	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	読解文字を通して 身に付けさせたい力 ³⁰
1	1	リライト教材を読み、文章構成とキーワードをとらえる。 ①リライト教材を音読する。 ②段落ごとのキーワードを抜き出す。 ③文章構成をとらえる。				◎	○	15 キーワード ⁶ 25 文章構成
	2	第1教材を読み、学習感想を書く。 ①アップとルーズで撮った写真を見比べる。 ②題名読みをする。 ③全文を音読する。 ④初発の感想を書く。	○			◎		1 題名読み 2 初発感想 3 音読
	3	学習の見通しをもつ。 ①大まかな文章構成をとらえる ②今後の学習の見通しをもつ。 ③新出漢字を知る。 ④難語句の意味を調べる。	○			◎		3 音読
2 (本時)	4	第①～③段落を読み、要点をまとめる。 ①第③段落から問いの文を見つける。 ②第①②段落からアップとルーズの特徴を読み取る。 ③第①②段落と第③段落の関係を読み取る。				◎	○	7 問いと答え 10 指示語 15 キーワード ⁶ 16 キーセンテンス 17 要点
	5	第④～⑥段落を読み、要点をまとめる。 ①第④⑤段落からアップとルーズのちがいを読み取る。 ②第④⑤段落と第⑥段落の関係を読み取る。				◎	○	10 指示語 15 キーワード ⁶ 16 キーセンテンス 17 要点
	6	第⑦⑧段落を読み、要点をまとめる。 ①筆者が伝えたかったことを読み取る。				◎		16 キーセンテンス 17 要点
	7	文章全体の構成を考える。 ①各段落の要点をもとに、まとまりとその役割をとらえる。 ②文章構成図を作る。				◎		17 要点 24 意味段落 25 文章構成
3	8	第2教材を読み、今後の学習の見通しをもつ。 ①「四年三組から発信します」を読み、活動の見通しをもつ。 ②普代村を紹介するホームページ作りの流れの見通しをもつ。	○		◎			
	9	取り上げる題材を決め、取材する。 ①取材し、情報を集める。			◎			
	10	集めた材料を取捨選択し、記事を考える。			◎			
	11	①必要な情報を選び、割り付けを考える。						
	12	下書きをする。			◎			
	13	①見出しや割り付けを工夫しながら下書きをする。 ②書いた文章を読み合い、推敲する。						
	14	ホームページの原稿を作成する。			◎		○	
	15	①推敲したものをもとにしながら原稿をパソコンに入力する。						
16	情報を発信する。		◎			○		
17	①学級で読み合う。							

6 本時の指導

(1) 目標

アップとルーズには、伝えられることと伝えられないことがあることを読み取ることができる。

(2) 本時の評価

評価規準

アップとルーズには、伝えられることと伝えられないことがあることを読み取り、文章にまとめている。

Aの状況の具体的姿	Bの状況の具体的姿	Cの状況への手立て
アップとルーズには、伝えられることと伝えられないことがあることを読み取って、アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることを表現している。	アップとルーズには、伝えられることと伝えられないことがあることを読み取り、まとめている。	まとめることができないでいる児童には、板書の表の中にある言葉や接続語に着目すればよいことに気付かせ、まとめさせる。

(3) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点(※) 評価
導入	1 前時を振り返る。 2 学習課題を確認する。		※掲示されてある学習計画表を使いながら、前時の学習内容の確認を児童が主体となっていく。
	アップとルーズでは、どんなちがいがああるか読み取ろう。		
3分	3 本時の学習の見通しをもつ。		※本時はアップとルーズの違いを読み取り、まとめることができたなら目標達成であることを共通理解する。
展開	4 課題を解決するために読む。 (1) 学習段落(形式段落④⑤⑥)を音読する。 ○どんな違いがあるかを見つけながら読みましょう。 (2) アップとルーズの違いを読み取る。 ○アップとルーズの違いについてまとめている段落はどこですか。 ○アップで伝えられることと伝えられないことはどんなことでしょうか。サイドラインを引いてみんなでまとめ	・⑥段落です。わけは、「このように～」という指示語を使っているからです。 【伝えられること】 ・細かい部分の様子 【伝えられないこと】 ・うつされていない多く	※形式段落④⑤⑥の全文を提示する。 ※指名読みをさせ、アップとルーズの違いに気付かせるようにする。 ※形式段落⑥の「このように～」の一文から、形式段落④⑤にはアップとルーズについて具体的に述べられているということに気付かせる。 ※「伝えられること」「伝えられないこと」は、「分かること」「分からないこと」と表現されている

<p>25分</p>	<p>ましょう。</p> <p>○ルーズで伝えられることと伝えられないことはどんなことでしょうか。サイドラインを引いて自分で表にまとめましょう。【書く活動①】</p> <p>(3) 全体の場で考えを交流する。</p> <p>○アップとルーズは、両方とも必要でしょうか。</p>	<p>の部分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【伝えられること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広いはんいの様子 <p>【伝えられないこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各選手の顔つきや視線それらから感じられる気持ち </div> <p>・ アップで分からないことがルーズで分かるし、ルーズで分からないことはアップで分かるから、どちらも必要です。</p>	<p>ことを確認する。</p> <p>※写真と教材文を照らし合わせ、サイドラインを引かせる。</p> <p>※形式段落④では、「しかし」の前に「分かること」その後「分からないこと」が記述される構成になっていることに気付かせる。形式段落⑤でも同様に「でも」に着目させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ルーズで伝えられることと伝えられないことをまとめることができたか。(ノート、発言)</p> </div> <p>※形式段落④⑤が対比の関係であること、それぞれの短所をお互いの長所で補い合っている関係であることを図からも確認させる。</p> <p>※アップとルーズの違いをまとめた表をもとに、目的に応じて使い分けられていることに気付かせたい。</p>
<p>終末</p>	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>(1) アップとルーズの違いをまとめる。</p> <p>○アップとルーズでは、どんな違いがあるかをまとめましょう。 【書く活動②】</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>アップでは、細かい部分の様子がよく分かる。しかし、うっさい部分の多くは分からない。</p> <p>ルーズでは、広いはんいの様子がよく分かる。でも、細かい部分の様子は分からない。</p> </div>	<p>※書く時には、以下の条件に合わせて書くように指示する。</p> <p>① 1段落目、1文目の書き出しは「アップでは、」とし、2文目の書き出しは「しかし、」とする。</p> <p>② 2段落目、1文目の書き出しは「ルーズでは、」とし、2文目の書き出しは「でも、」とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>アップとルーズの伝えられることと伝えられないことを、提示された文型に従ってまとめることができたか。(ノート、発言)</p> </div> <p>※書き終わった児童の文は、その場で即時評価をする。評価の基準は、①記述条件が満たされているか②接続語の前に伝えられること、接続語の後に伝えられないことが短くまとめて書かれてあるか、で</p>

17分	<p>(2) まとめを発表する。</p> <p>○ノートに書いたまとめを発表しましょう。</p> <p>○今日の授業の感想を発表しましょう。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>判断する。</p> <p>※まとめることに困っている児童には、板書を参考にしながらまとめさせる。</p> <p>※書き終えた児童は、学習の感想を考えておくように指示する。</p>
-----	--	--

(4) 板書計画

